

<運動会について>

保護者会でもお話ししたように、今年度の運動会は午前中開催、午後はお弁当を食べて、5時間目に振り返り等の時間を取り、下校となります。

内容については、紅白に分かれて優勝・準優勝を競う形式にはせずに、以下の2競技を行います。

- ①表現活動（1，2年生の低学年、3，4年生の中学年、5，6年生の高学年と、3つの団体で行います）
- ②短距離走（1，2年生50m、3，4年生80m、5，6年生100mとして、順位は付けません）

変更の趣旨については、以下の通りです。（昨年度までのアンケートや反省をもとに校内で検討し、校長が決定をしました。）

○順位や勝敗を競うことから、体育の授業での取組の成果を発表する場と位置付けます。

○2つの学年合同で行う表現で、これまでにない迫力のあるものを作り上げてほしいと考えています。また、上学年は下学年をリードしお手本となる気持ちを高めてほしい、下学年は次に自分たちがリーダーとなるときのに向けての気持ちなどを学んでほしいと願っています。

○短距離走について、順位は付けませんが、見ている人には誰が速いか、全力で取り組んでいるか伝わります。全力で走る・取り組む姿勢を大切にしてほしいと願っています。

○体力的な側面から…

事前の練習や準備から、当日に至るまでの体力的な部分（特に熱中症などの暑さ）を考えて、午前中開催で間に一斉休憩時間を入れられる設定としました。

（児童、教職員および家庭への負担感）

○授業時数（教育課程上）の課題

これまで通りの内容を続けるためには、多くの練習時間を必要とする。授業時間内だけでなく、中休み・昼休み・給食準備中・放課後などの時間も割いている現状でした。児童や教員への負担も大きく、これだけの時間を確保するためには、他の期間中に教科等の時間を確保していかなければなりません。

児童だけでなく、教員にも過度な負担を掛けないために、規定よりも多くの授業時数（余剰時数）を設定することについては、文科省や都からも改善するように求められています。そのため、内容を精選することが必要です。

○様々な行事とのバランス

学校では、年間を通して様々な行事を行っています。これまでのような運動会を楽しみにしている児童もたくさんいますが、これだけに多くの時間をかけることは、他の行事とのバランスを崩していくことになります。もちろん、行事によって軽重はありますが、年間を通してバランスよく、多くの児童が力を発揮し、輝ける場を用意していく必要があります。

児童・保護者、教員が毎年入れ替わっていくこと、現在の行事の在り方に対する考え方などから、これまで通りのものを継続することは、難しくなっていくと考えています。大きな変更により、様々なご意見があることは承知しておりますが、運動会を含めて、持続可能な行事の運営、学校経営をしていくための判断です。どうかご理解とご協力をしていただき、限られた中でも全力を出せるようお子様を励ましていただきたいと願っております。